



A\_アーキエアーズは「Long Loved Design〜永く愛されて本物になる〜」をコンセプトに、家族の生き方、家の素材、デザインにこだわる。K邸では黒を基調としつつも、外壁に無垢のスギ材を用いることで、高級感と素朴さをうまく調和させた。 B\_LDKから気軽に庭へ出られると、薪割りや薪の持ち込みが楽し、子どもたちもそのつなかりをうまく活用して楽しんでいる。 C\_冬の晴れた空に雪をいただいた北アルプスの稜線が映える。



安曇野の風景に調和し  
家の中では家族同士が  
おのずと馴染む住まい

北アルプスの山々をはるか白馬三山まで見晴らし、周りを田園に囲まれて立つK邸は、その安曇野の風景によく似合っています。家の外壁と塀に施した県産スギ材の質感や色合いが、家の表情に穏やかさと温かさを添えることで、モダンな外観ながら、建物自体主張し過ぎることがなく、安曇野との共生を叶えています。

一方、家の中は、家族同士が馴染めること、同じ時間を共有することを大切にしました。たとえば、ご主人が家で仕事をするとときは、書斎に籠もるのもダイニングテーブルでパソコンを立ち上げるのでもなく、仕事

に集中しつつ子どもたちの声が耳に入ってくる環境をつくりたいと考えました。そこで、リビングに低い壁を設け、これを挟んでソファと反対側に仕事机を据えています。

また、2階の吹き抜けに面したスペースにカウンターを設け、ここでも仕事ができるように工夫しました。隣の寝室で子どもたちを寝かしつけた後、その寝顔に時折、目をやりながら、「さあもうひと頑張り」と仕事に向き合うそうです。

ご主人は言います。「一つの大きな空間に、いろんな居場所があるんです」。個々の時間を敬いながら、吹き抜けを介したタテのつながりと、部屋同士を仕切り過ぎないヨコのつながりが、どこにいても同じ空間にいるように感じさせ、家族でひとつの時間を感じられる安心を約束しているのです。

どこにいても家族が  
ひとつの時間を過ごす



**D** 家じゅうが一つの大きな空間として家族のつながりを育むK邸にあって、薪ストーブはその中心。子どもたちも自然と集まってくる場所だ。チークの床との相性も良い。

**E** 週末には薪ストーブでピザを焼く。アヒージョにも挑戦した。これからも薪ストーブ料理のレシピが増えていく。

**F** ダイニングテーブルはキッチンと同じ高さで横並びに連ねた。その分キッチンの床は少し低くし、テーブルに着く家族と視線が合うようにした。キッチンの奥はサニタリールームへとつながる。

**G** パッシブデザインを採用し、軒の深さで夏と冬の日差しをコントロール。冬は家の奥まで太陽の光が届く。



長野展示場をたまたま見て「素敵だね」と夫婦で話し、設計した石田氏のインスタグラムを覗いてみると他の家もやっぱり素敵でした。問い合わせたところ担当者は、自分たちが大事にしていること、住まいづくりで心配していることなどに熱心に耳を傾け、プロの目線でさまざまな提案をしてくれました。プランを説明する際もC/Gを使ったイメージ表現が分かりやすく、「誠実さとプレゼンの上手さに信頼が置けた」と二人は話します。

共働きのK夫妻は、住まいの機能面にもこだわりがありました。ダイニングテーブルはキッチンと同じ高さで連ねたので、配膳や片付けがスムーズです。キッチン奥はパントリー、さらにサニタリールームへつながっており、家事の移動にストレスがありません。玄関脇のシューズクロックやお風呂の手前に置いたファミリークロークなど適所に大容量の収納があり、「すぐに片付くのがうれしい」と奥様。

家のつくりが家事を合理的にこなすための支えとなる一方、くつろぎをもたらす仕掛けも用意しました。たとえば薪ストーブ。炎の前に自然と皆が集まり、週末にはピザなどの料理を楽しみ、薪割りに精を出します。K邸は暮らしのオン・オフを気持ちよく切り替えられる住まいとなりました。

共働き夫婦が気持ちよく暮らしのオン・オフを切り替えられる住まい

Kさんが住まいづくりを任せたのはアーキエアーズです。

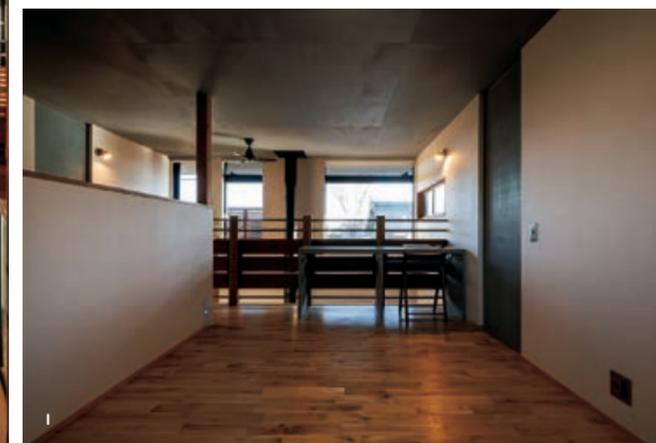
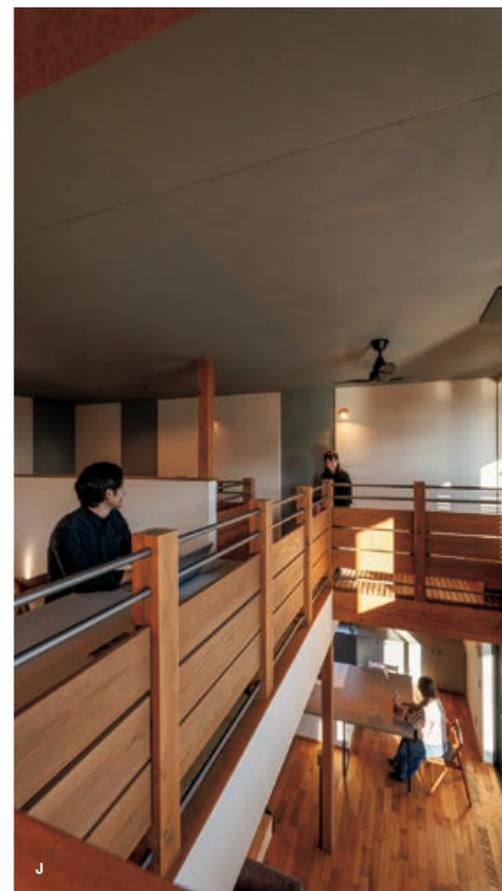
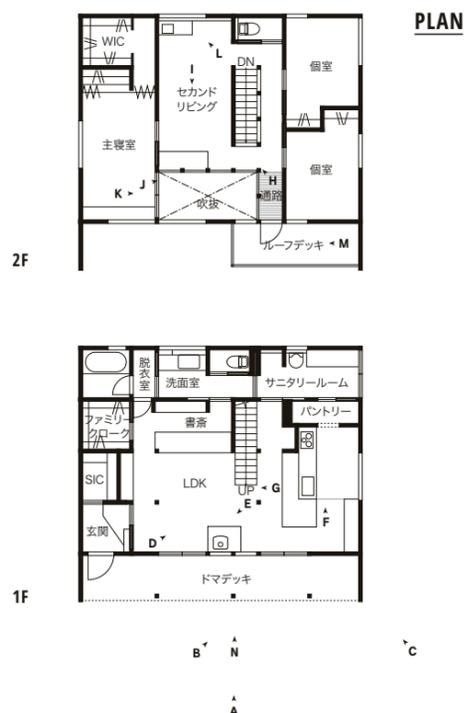


M\_外壁は長野県産の杉を鉛張りしている。外観の表情に趣を添えるだけでなく、耐久性も高い。 N\_あたたかく落ち着いた雰囲気の内テアは夜、家の灯が点るとその魅力を一層増す。

DATA

敷地面積	427.72㎡ (129.13坪)
延床面積	145.94㎡ (44.06坪)
1F面積	72.87㎡ (22.00坪)
2F面積	73.07㎡ (22.06坪)
デッキ面積	6.85㎡ (2.07坪)

工法/木造在来軸組工法 基礎/ベタ基礎 構造材/：スギ 3.5寸・4寸角、土台：ヒノキ3.5寸角 断熱材/天井：ウレタン吹き付け220mm、壁：高性能グラスウール105mm・付加断熱ネオマフォーム30mm、基礎：ウレタン吹き付け100mm 主な外装仕上げ/屋根：ガルバリウム鋼板、外壁：根羽スギ+塗り壁 主な内装仕上げ/天井：クロス・マホガニー合板、壁：クロス・ラージ合板・マホガニー合板、床：チーク・オーク 開口部/トリプルガラス キッチン/永大産業 ラフィーナネオ キッチン熱源/1Hクッキングヒーター バスルーム/タカラスタンダード リラクシア 暖房の種類/床下エアコン C値/0.45 UA値/0.30



H\_白い壁と無垢の木の床、アイアンの手すりを組み合わせ、間接照明を効かせたインテリアが心を落ち着かせてくれる。 I\_2階には、セカンドリビングにも使える広いスペースを挟んで、両側に主寝室と子供部屋を置いた。 J\_2階の吹き抜けに面したデスクでご主人が仕事をしていると、階下にいる家族の声や気配がちゃんと伝わってくる。 K\_主寝室から吹き抜け越しに子供部屋を見る。空間に仕切りが少なく目線の行き先も伸びやか。 L\_2階のセカンドリビングに設けた水場。横長の窓からは白馬三山を望める。



Owner:  
Kさんご家族

Q1. 家づくりで一番大切にされたことは？

A\_自分がどこにいても、家族が一つの空間にいて同じ時間を過ごしている安心感。

Q2. こうしておいてよかった、と思ったことは？

A\_リビング脇に家族とつながれる書斎を設けたこと。合理的な家事動線。2階のセカンドリビング、ファミリークロークなどの収納。

Q3. このビルダーさんに頼んでよかったことは？

A\_誠実でプロ意識が高く、どんなことでも相談できた。おかげさまで思いが形になりました。



Builder:  
コンシェルジュ/今井雄介さん

Q1. この家のコンセプト、ポイントは？

A\_繋がる家。

Q2. この家の見どころを3つに絞るなら。

A\_家族の気配を感じる空間、安曇野の自然に融合する木の質感を生かしたデザイン、移動しやすい複合的な動線。

Q3. 家づくりで一番大切にしていることは？

A\_お住まいになるご家族にとって永く愛せるマイホームになること。

